

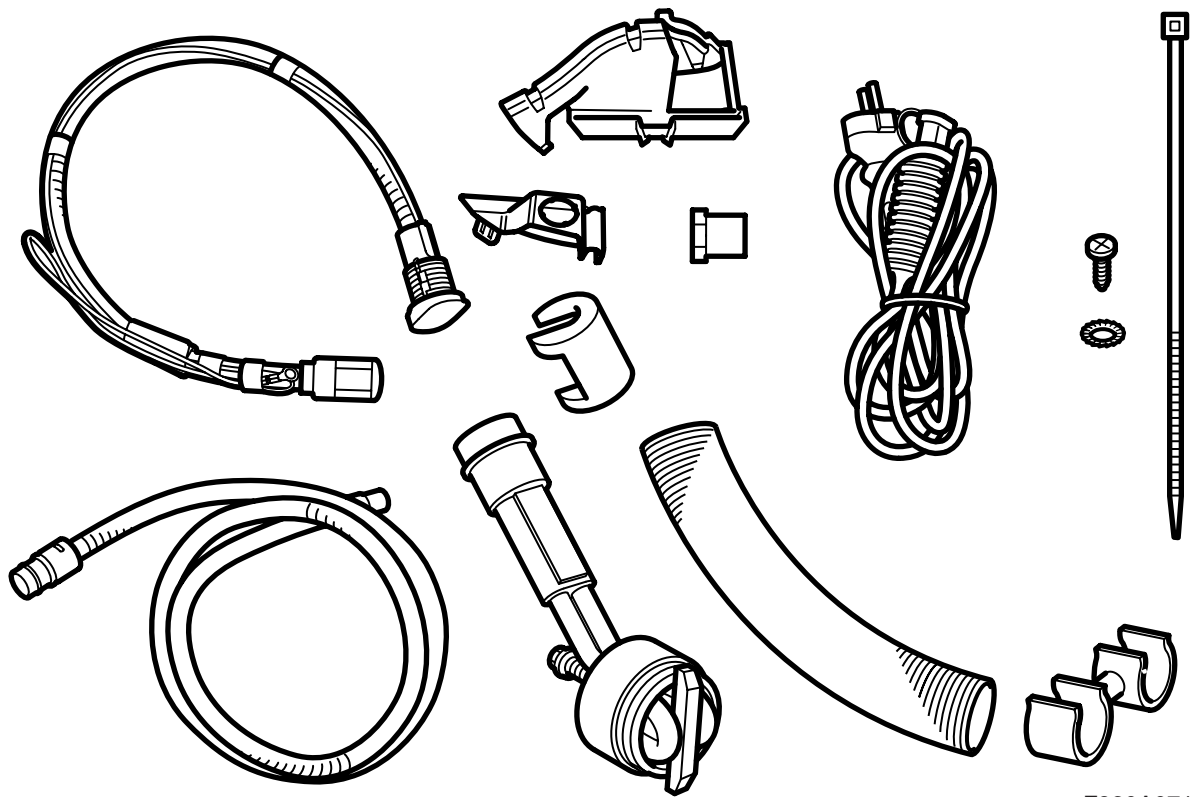


MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE

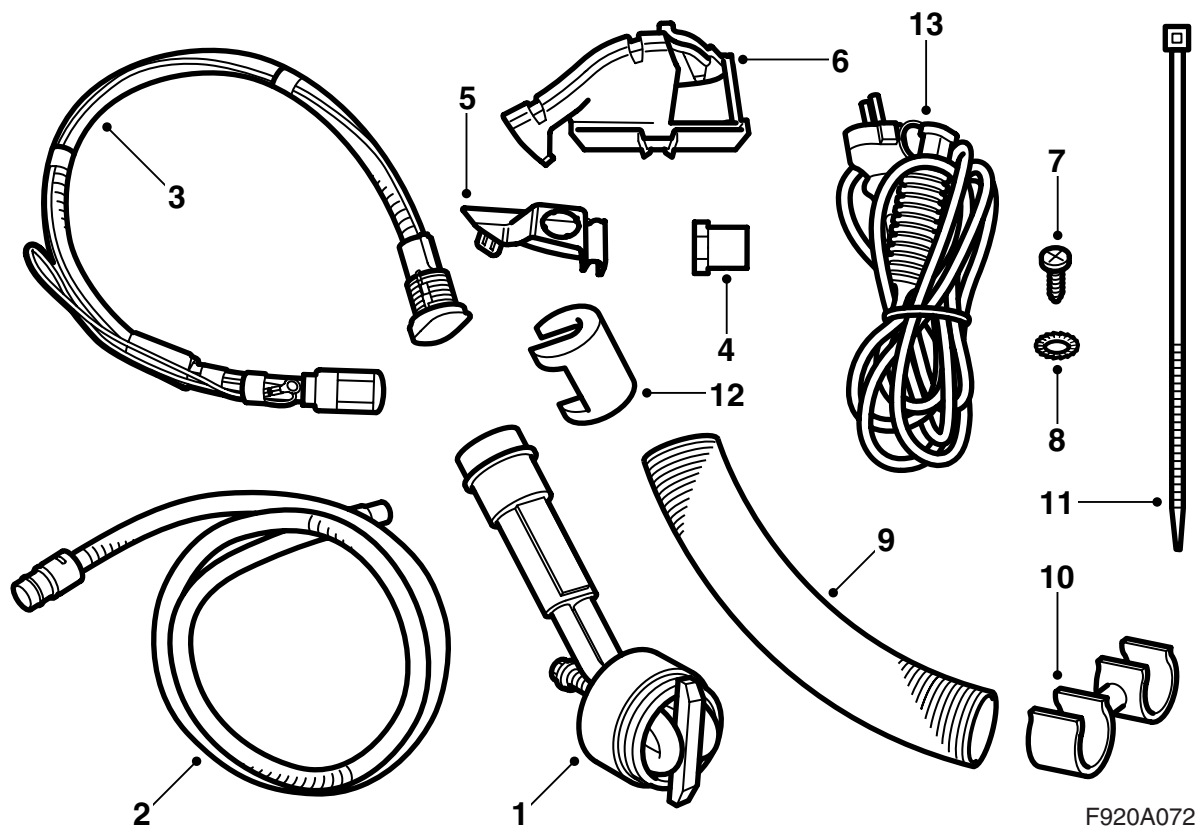
Saab 9-3 Z18XE M08 ~

パーキングヒーター（エンジンプロックヒーター）

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
32 026 188		Oct 07	32 026 196	

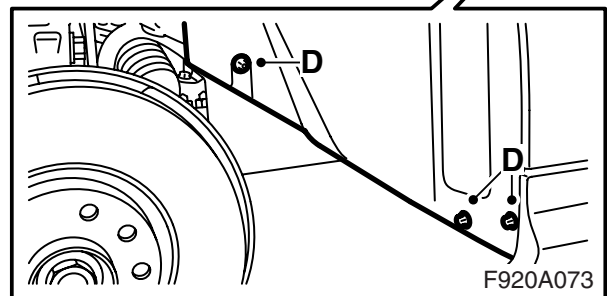
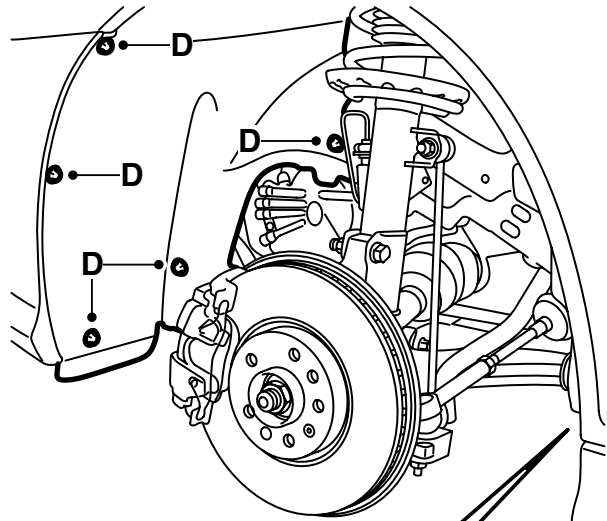
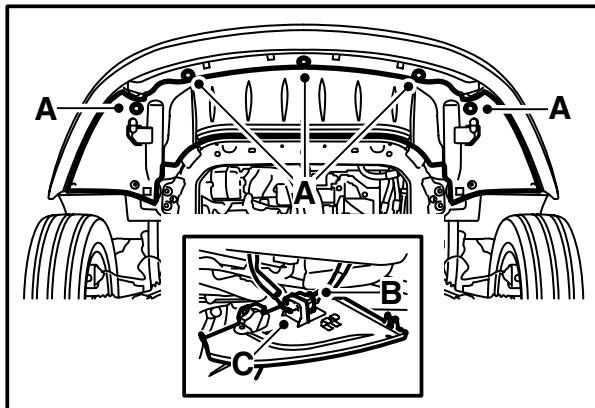
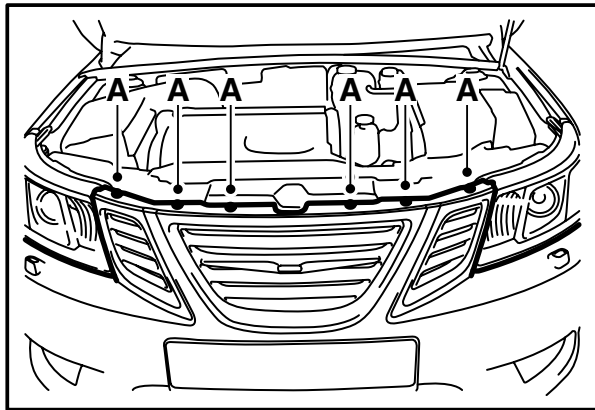


F920A071



F920A072

- 1 ヒーターエレメント
- 2 延長ケーブル
- 3 アースケーブル付きコネクターケーブル
- 4 プラスチックナット
- 5 アウターブラケット
- 6 インナーブラケット
- 7 ネジ
- 8 スターワッシャー
- 9 断熱材
- 10 クランプ (使用しない)
- 11 ケーブルタイ
- 12 ロッククリップ (x2)
- 13 接続ケーブル



- 1 エキспанションタンクのキャップを取り外す。

警告

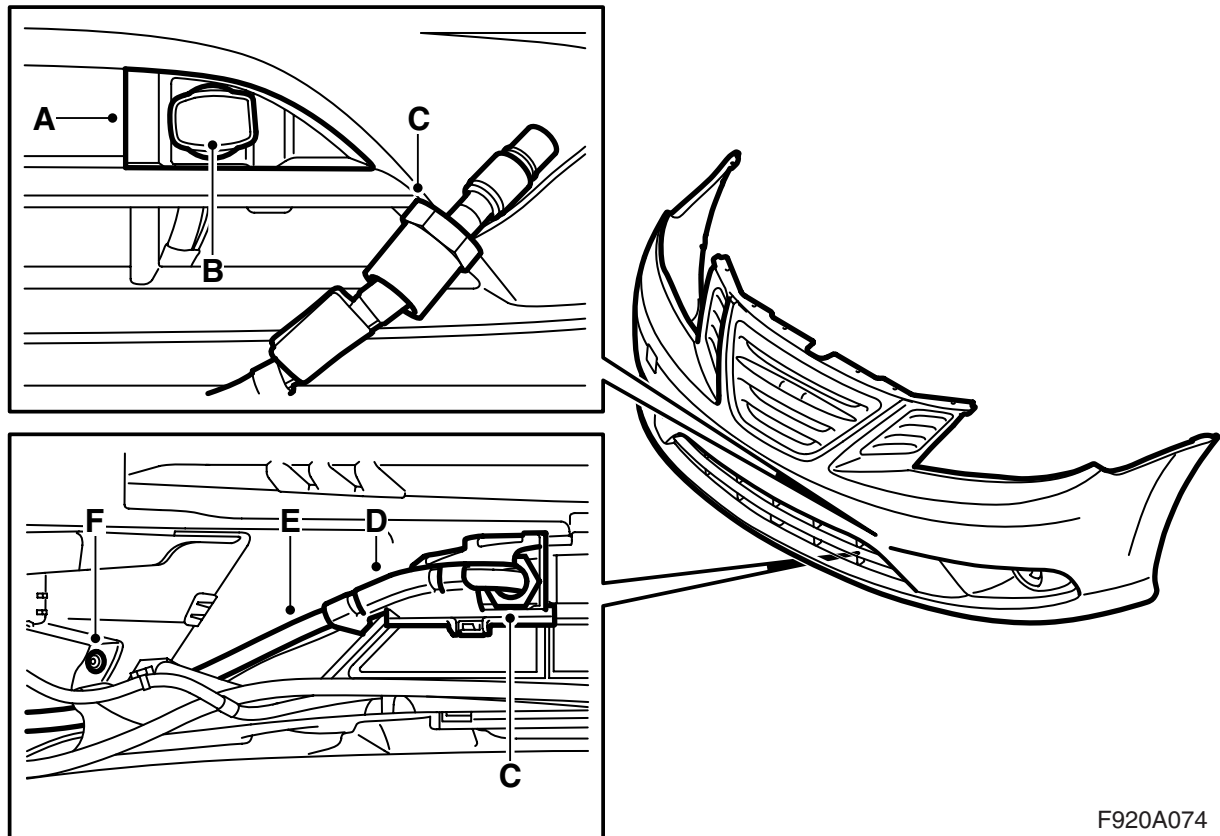
冷却システムには過剰圧力がかかっている。高温の冷却液や蒸気が噴出する恐れがあるので、キャップはゆっくりと開け、過剰圧力を逃がすこと。これを怠ると、眼を痛めたり、ヤケドを負う恐れがある。

- 2 バンパーのアップーボルト (A) を取り外す。
 - 3 車両をリフトで上げる。
 - 4 バンパーのローアボルト (A) を取り外し、バンパーのコネクター (B) を分離し、これをスポイラーシールドのホルダー (C) から外す。
- ヘッドライトウォッシャー装備車：** スポイラーシールドからホースを外す。
- 5 エンジンの下に受け皿を配置し、冷却液ポンプ下面のドレーンプラグを開き、冷却液を抜き取る。

警告

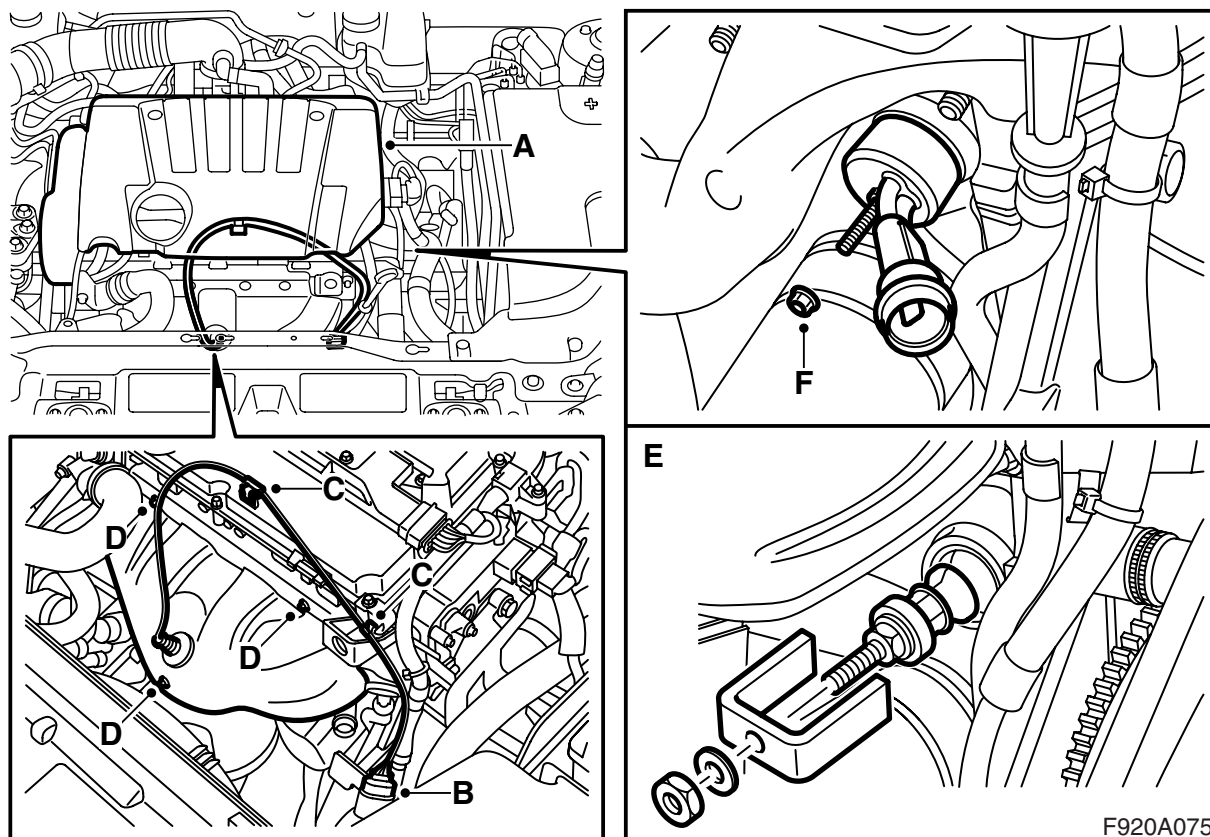
エンジンが暖機状態のときは、特に注意深く作業すること。冷却液が熱くなっている。また、排気マニホールドに触れてヤケドを負う恐れもある。

- 6 左フロントホイールを取り外す。
- 7 左フロントホイールのアーチライナー (D) を取り外す。
- 8 バンパーシェルを取り外す。



F920A074

- 9 ブラケット (A) をバンパーに取り付ける (カチッと音がするまではめ込む)。
- 10 コネクターケーブル (B) を、ブラケットを通して差し込み、ナット (C) をはめる。
- 11 バンパーをひっくり返す。
- 12 インナーブラケット (D) を取り付け (しっかりとはめて固定すること)、コネクターケーブル (E) をブラケット内に配置する。
- 13 ナット (C) を手で締め付ける。
- 14 フォグライトのネジ (F) をゆるめ、コネクターケーブル (E) をフォグライトのマウンティングの下に差し込む。ネジ (F) を元通りに締め付ける。
- 15 車をリフトダウンする。



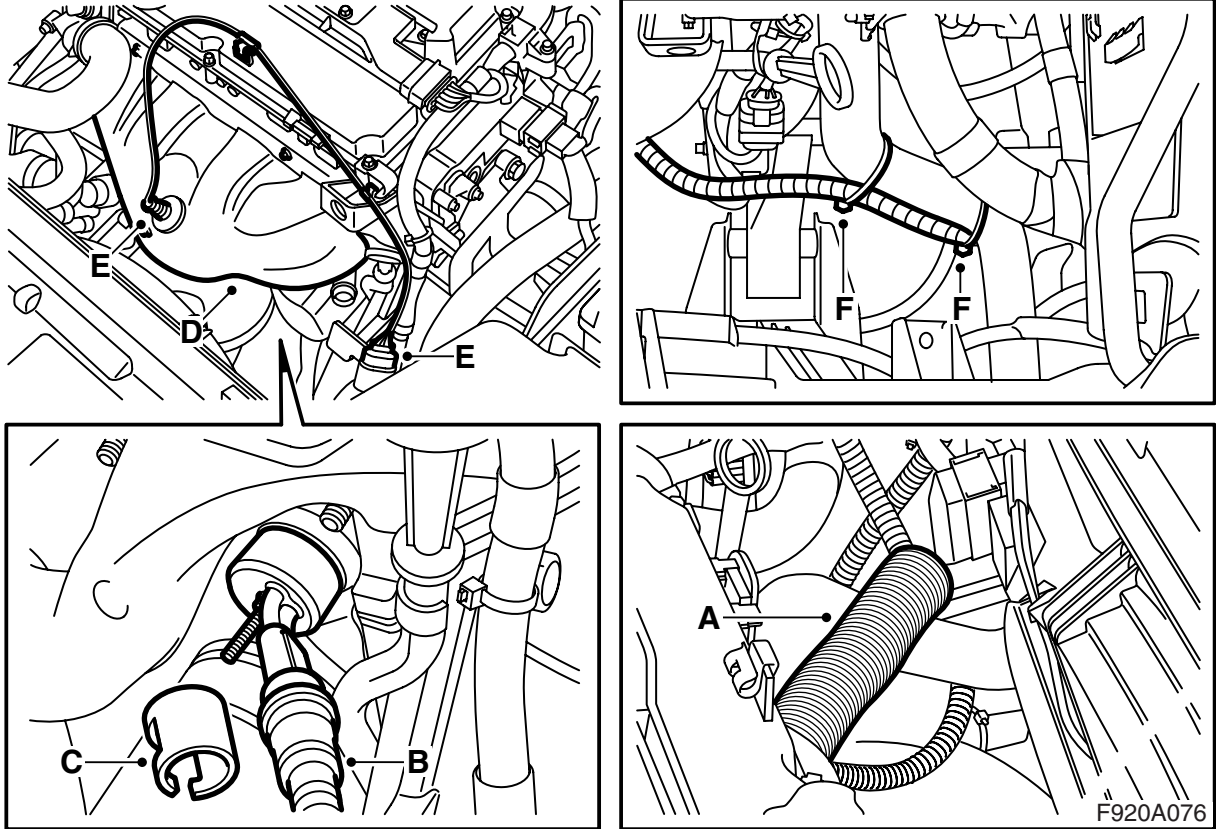
- 16 エンジンカバー (A) を取り外す。
- 17 O2 センサーのコネクター (B) を分離し、この O2 センサーのワイヤーハーネスをクリップ (C) からゆるめて外す。
- 18 排気マニホールドのヒートシールド (D) を取り外す。
- 19 工具 (260 147 020) を使用して、フロストプラグ (E) を取り外す。長さ 17mm のスリーブなどを利用する。エンジンブロックの接合面を清掃する。
- 20 パーツ番号 30 06 665 の塩基性ワセリン (または同等品) をパーキングヒーターの O リングに塗布する。
- 21 パーキングヒーター上の T 型のサポートを調整して、両方の熱線の間の中間の位置となるようにする。ヒーターをシリンダーブロックに押し込み、これを排気マニホールドとオイルレベルゲージの間にある電気接続コネクターに接続する。

重要事項

パーキングヒーターとオイルレベルゲージの間には約 10mm の距離が必要である。

- 22 ナット (F) を取り付ける。

締め付けトルク 3.5 Nm (2.5 lbf ft)



- 23 ヒートシールドをケーブル上 (A) に取り付ける。
- 24 パーツ番号 30 15 286 の塩基性ワセリン (または同等品) をコネクタケーブル (B) の O リングに塗布して、ケーブルをパーキングヒーターに接続する。

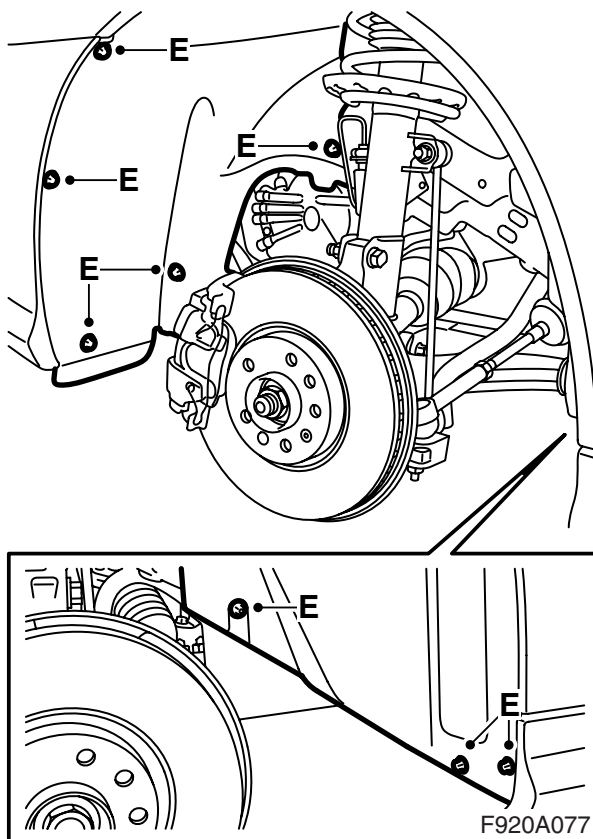
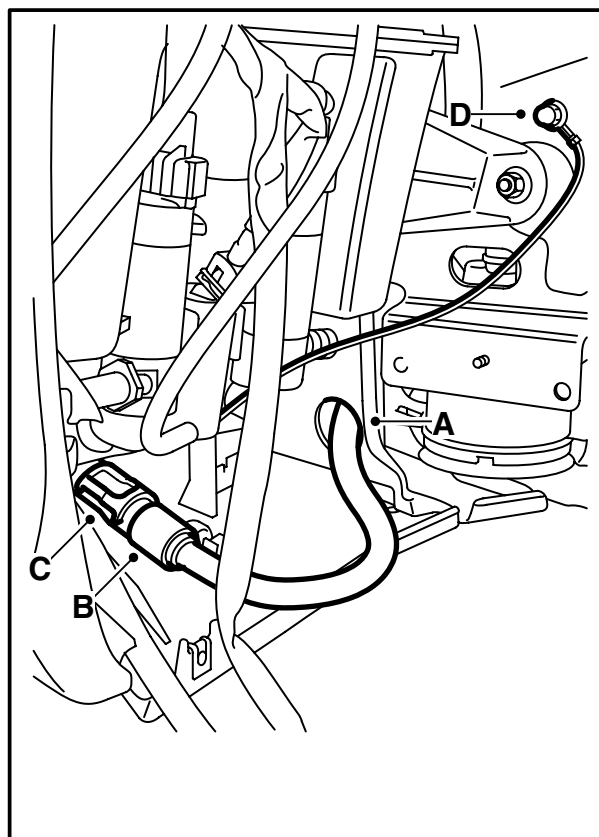
⚠ 警告

接続する前にコネクタケーブルの O リングを潤滑し、接続箇所は全てしっかりとめ合わせておくことが重要である。接触不良は、発熱や火災の原因となることがある。

- 25 ロッククリップ (C) を接続部に取り付ける。ロッククリップは、正しく取り付けるとカチッという音がするはずである。
- 26 電気接続部を覆うようにヒートシールド (A) を固定し、ヒートシールドの両端部を締め付けておく。
- 27 排気マニホールドのヒートシールド (D) を取り付ける。
- 28 O2センサーのワイヤーハーネスをクリップ内に位置づけ、コネクタを接続する (E)。コネクタをブラケットに取り付ける (E)。
- 29 ケーブルタイでコネクタケーブルを固定する (F)。ケーブルは、エンジンの振動を受け止めることができるようになだらかな弧を描かせる。

⚠ 警告

鋭いエッジや熱くなった面にケーブルが接触しないように注意すること。摩擦や溶解による損傷が、短絡や火災の原因となる場合がある。



- 30 車両をリフトで上げる。
- 31 コネクターケーブルを穴 (A) に通す。
- 32 バンパーシェルを取り付ける。バンパーのコネクターをホルダーに取り付け、このコネクターを接続する。
ヘッドライトウォッシャー装備車: ホースをスライダースールドにしっかり留める。
- 33 延長ケーブル (B) をコネクターケーブルと接続し、接続部分の上にロッククリップ (C) をはめる。ロッククリップは、正しく取り付けるとカチッという音がするはずである。コネクターケーブルが余った (長すぎる) 場合は、ケーブルタイでバンパー内側のスペースに固定する。
- 34 アースケーブルをアースポイント (D) に、既存のドームナットで取り付ける。
- 35 アーチライナーを取り付ける (E)。
- 36 左フロントホイールを取り付ける。
- 37 車をリフトダウンする。
- 38 **ヘッドライトウォッシャー装備車:** ヘッドライトウォッシャーが正しく作動することを確認する。
- 39 冷却液を充填し、エキスパンションタンクのキャップを取り付ける。システムに漏れがないことを確認する。

40 冷却システムのエア抜きを下記のように行う：

⚠ 警告

冷却システムには過剰圧力がかかっている。高温の冷却液や蒸気が噴出する恐れがあるので、キャップはゆっくりと開け、過剰圧力を逃がすこと。これを怠ると、眼を痛めたり、ヤケドを負う恐れがある。

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

冷却液を MAX レベルまで充填する。エキスパンションタンクのキャップを閉じ、エンジンを始動して回転速度を変化させながら暖機運転する。

サーモスタットハウジングからの連続した冷却液の流れがエキスパンションタンクにあることを確認する。

サーモスタットが開くまでエンジンを運転する。

エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、再度 MAX レベルまで冷却液を満す。キャップを閉じる。エンジンを停止させ、必要であれば MAX レベルまで冷却液を補充する。

ユーザーの方へ

- 延長ケーブルには、耐油性で屋外使用許可を受けた、断面積が $3 \times 1.5\text{mm}^2$ 以上のゴムケーブルを使用して下さい。
- ヒーターシステムは、アース付きコンセントへの接続のみが認められています。
- ケーブル類は慎重に取り扱って下さい。特に、ボンネットとボディ間に挟まったり、鋭い金属部品などに触れると損傷する恐れがあるのでご注意下さい。



警告

感電を回避するため、コネクタプラグのアースピン、ヒーターハウジング、ボディ間のアース接続を定期的に点検して下さい。

- 延長ケーブルに損傷や老化が見られないか、定期的に点検して下さい。損傷したケーブルは直ちに交換して下さい。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が劣化する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状態の氷がある場合
- ラジエーターシールが使用されている場合